

---

# 気づかない。

零夜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

気づかない。

### 【コード】

N4199Z

### 【作者名】

零夜

### 【あらすじ】

よく読んでみると怖い。

日常には、そんなホラーが沢山あります。

この話は、その一つ。

(前書き)

何もないような。普段生活している。私達の町や、路地や学校。普段、普通に訪れるところにこそ。ホラーがある。

たとえば。同じ姿をしている自分がこの世界には、三人いる。

その一人とさりげなくすれ違ったら、あなたは、気づくことができるだろうか．．

僕は、中学三年だ、黒いバツクに制服 受験は、大変。  
しかも学校が嫌い。

そんな僕でも、一人の友達が居る。

そいつは、オカルト好き。

ある日、そいつから聞いた。

「なあ、知ってるか？この世界には、自分とまったく同じ人間が三人いるんだってな。」

それで、自分同士がばったり会ってしまおうと。どっちかが死ぬんだ。

「

そんな話を僕は、思い出しながら、いつもの帰り道、を歩いていた。  
今日も疲れたな。などと、言っている間に、僕のうちの近くの町  
まで来た。

「いろんな人がいるんだな。あの人、にあの人、あの黒いバツクに  
制服を着た中学生も皆、疲れてるんだな。さて、かえろつと。んっ

・あれ？、気のせいだな

まさか僕の後をつけるほどの物好きは、居ないだろww、」

(後書き)

後書きか・毎回、後が思いつかないのが僕の悪い癖です。

今回は、この物語について簡単に書いて行こうかな。

この世界と同じ自分が三人、つまりドツペルゲンガーですね。話だけ聞けば、気をつけようと思えますけど、そんなドツペルゲンガーとさりげなくすれ違うような事があったら、怖いですよ。ではノ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4199z/>

---

気づかない。

2011年12月14日16時46分発行